

問

〔杉谷〕みずから健康づくりに関心を持ち、病気の早期発見・治療をすることで、健康が保たれ、医療費の軽減にもつながる。

がん検診の受診状況は。

〔町長〕昨年度の本町の受診率は約20%であった。

ケーブルテレビ・広報だいでせん・防災無線などで受診の呼びかけを行い、昨年からは日曜日にも検診日を設定し、受診率の向上をめざしている。

脳ドッグ検診の公費助成は？

町長

検討したい



杉谷洋一 議員

〔杉谷〕人間ドッグの受診状況は。

〔町長〕昨年の受診者は651人で、大幅に増加した。市町村が実施している個別検診とは違い、義務的サービスではないが、ニーズなどを考えながら対応していきたい。



↑受診率の向上をめざして

〔杉谷〕脳ドッグ検診の公費助成はできないか。

〔町長〕現在実施している自治体の状況なども調査、研究しながら検討したい。

〔杉谷〕愛育委員の検診へのかかわりは。

〔町長〕大山地区では「愛育委員」が検診支援や健康づくりを推進している。中山地区は「保健委員」、名和地区は「健康づくり推進委員」という名称で、各種検診書類の配布や、受診の呼びかけなどを行っている。

おめでとうございます！

平成22年9月1日

自治功労者として表彰



町村議会議員として永年在職し、功労のあった議員が、鳥取県西部町村議会議長会に表彰されました。

◆議員として18年以上在職
椎木学 議員